

平成30年度 学校経営計画書

岡山県立津山商業高等学校

○本校のミッション（使命、存在意義）

校是「自彊」の精神に則り、ビジネス教育を担う県北唯一の専門高校として、知・徳・体の調和の取れた、心身ともに健全な人物を育てるとともに、時代や地域の要請に応えることのできる有為な人物の育成をめざす。

教育目標

- (1) 学業に励み、豊かな知性と情操を養い、相互の人格を尊重する人間性豊かな人物を育てる。
- (2) 勤労と責任を重んじ、豊かな社会づくりに貢献できる人物を育てる。
- (3) 個人の特性を伸ばし、自立的・自律的に行動できる人物を育てる。
- (4) 情報化の進展やグローバル社会に対応しつつ、地域に貢献しようという心と諸能力を持った人物を育てる。

○本校のビジョン（将来像、目指す姿）

- (1) 生徒一人一人が、校是「自彊」の精神を深く理解し実践することで、知・徳・体の調和の取れた人物に成長できる学校となる。
- (2) 生徒一人一人が、校内外における多様な学びとその成果の発表を通して、自己肯定感と他者との協働性、コミュニケーション力に富んだ、真に「自立した人間」に成長できる学校となる。
- (3) 生徒一人一人が、アクティブに、自律的に、礼儀正しく行動し、地域からより一層の信頼と愛情を寄せられる学校となる。
- (4) 新しい時代を力強く生き抜いて社会に貢献できる人材へと導く、指導力と組織力を持った教職員集団の学校となる。

○具体的な学校経営目標・計画

<目 標>

- (1) 学びのメタ認知化と「主体的・対話的で深い学び」の推進、「指導と評価の一体化」の実践を目指した組織的な授業改善により、真に「自立した人間」に求められる学力を向上させるとともに、生徒が各自で見定めた進路を保障する。**学びの充実**
- (2) 学校行事、総合的な学習の時間、社会貢献・国際交流活動、部活動、課外活動などの、生徒の主体的な活動の更なる活性化、諸活動及び校内外との連携の強化を図り、本校に対する地域からの信頼を高める。**地域との絆**
- (3) 安心・安全・快適な、また一人一人の生徒の自律性と規範意識を伸ばさせて健全な学校生活を送ることができる環境づくりの推進。**安心できる環境**
- (4) 生徒の「伴走者」として寄り添いともに学びながら進む組織的・協働的な教職員集団になることで、上記の目標の実現を目指す。**チーム津商**

<計 画>

- (1) 学力向上のため、全教職員で以下の取組を行う。
 - ① 「つしょうレインボー・プロジェクト」—「特別活動を核としてカリキュラム・マネジメントによる『身に付けさせたい資質・能力』の更なる成長の検証」（仮題）を研究主題とする国立教育政策研究所教育課程研究指定事業を学校全体の教育力の向上の好機と捉え積極的にかつ組織的に推進する。
 - ② 育成する「資質・能力」の焦点化・構造化を推し進め、各教科および行事で取り組む具体的な目標を明瞭化させる。
 - ③ 各教科で「振り返りシート」などの活用により、生徒の学習過程における資質・能力の育成を実感するとともに評価に反映できる方法の検証を行う。
 - ④ 各教科で「主体的・対話的で深い学び」の様々な手法についての研修や公開授業、研究授業等の授業改善の取組を推進するにあたり、教科間の関連性や系統性を持った学習活動を実施し、積極的に公開授業を行う。
 - ⑤ 「津商授業3」の実行により、次の4点の実現を図る。a 生徒のメタ認知（「何を学ぶか、何ができるか」の理解）の促進、b 「主体的・対話的で深い学び」の推進による生徒の主体性と学習意欲の喚起、c 生徒の自己評価、d 観点別評価へのa～c 反映。
- (2) 3年間を見通した、組織的・系統的なキャリア教育のあり方について、全教職員への周知徹底を図り、「一枚岩の進路指導」を実践、確立する。
- (3) 刷新した校内分掌組織により、現行の諸々の活動の「スクラップアンドビルド」及び各活動間の連携、協力を図ることで、より意義深く密度の濃い生徒の主体的活動を展開する。
- (4) 交通規則や校則といった「社会」のルール、「マナーアップ津商めざせ日本一のビジネスマナー校」「津山商業授業マナー」等の従来からのマナーについてのスローガン、校内外の清掃活動や各種ボランティア活動の推奨などが、生徒一人一人の心に響くものとなって自律的行動に繋がるための取組を行う。
- (5) あらゆる機会を通じて、本校の教育活動を保護者、地元の中学校、地域社会に広報・発信し、本校及び商業教育への理解と信頼、期待を高める。
- (6) 3年後の創立百周年に向けた様々な企画を、PTA、同窓会と協同して作り上げていく。